

2020.10 – 2021.3
コースフロー / コースカリキュラム

IT戦略・IS企画

IT戦略・企画立案やプロセス評価、
BA（BusinessAnalysis）に関する
知識や手法が修得できます。

<https://www.hitachi-ac.co.jp/>
日立アカデミーWebサイト

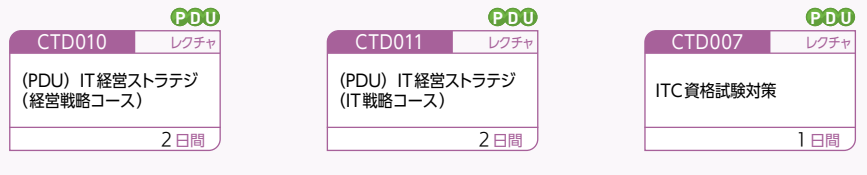
※本ガイドは2020年6月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。

※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。

※集合研修の開催時間については、当社Webサイトでご確認ください。

● 経営戦略／IT戦略の立案・強化をお考えの方

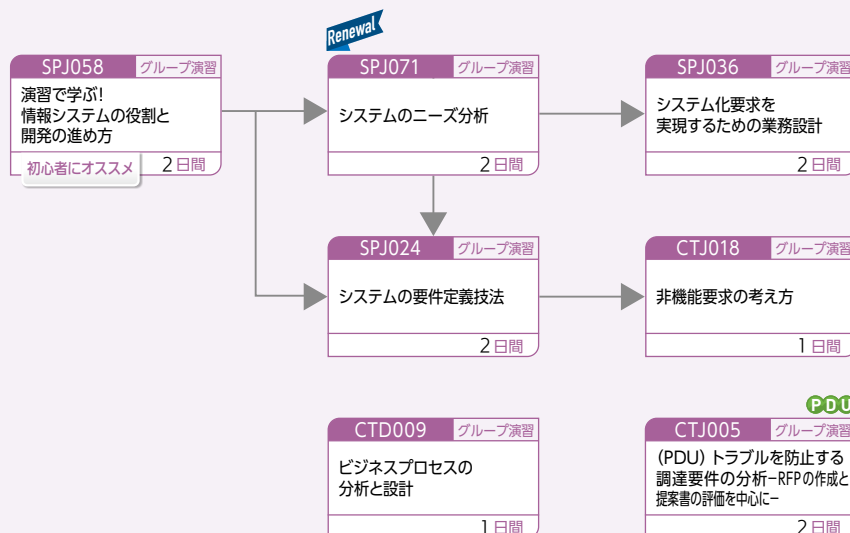
<ITコーディネータ関連コース>



● 内部統制の向上・強化をお考えの方



● システム企画／要件定義に携わる方



音声有・説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

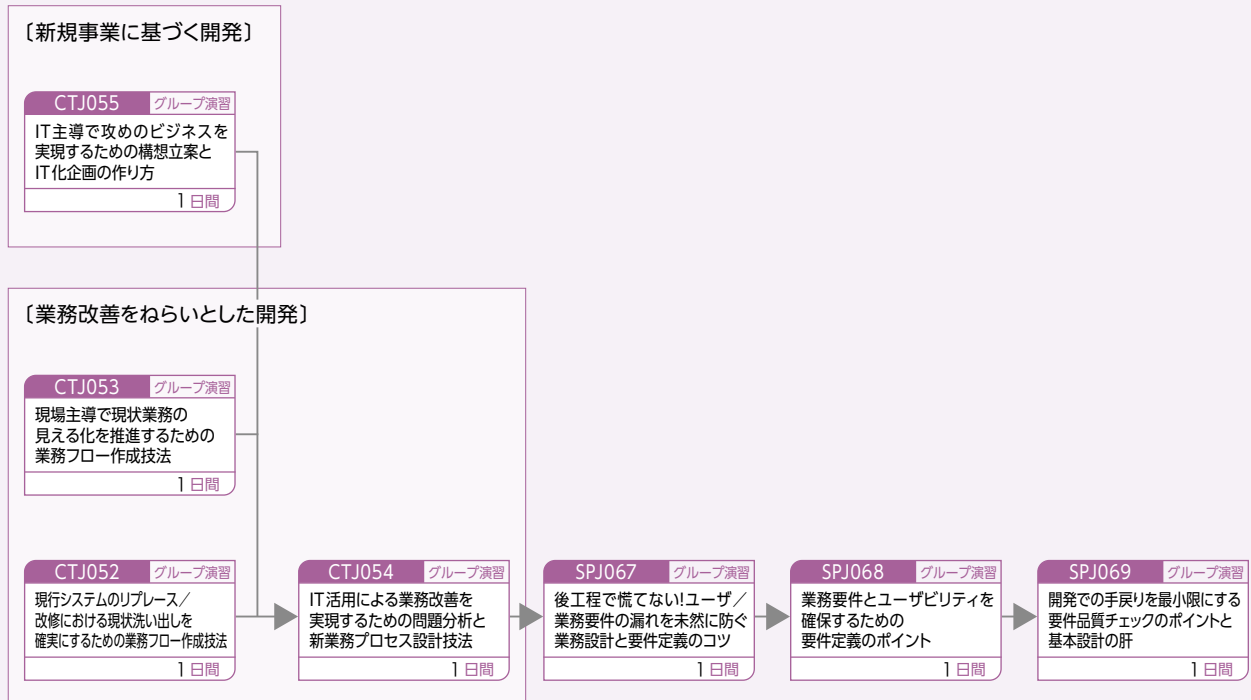
音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし・説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

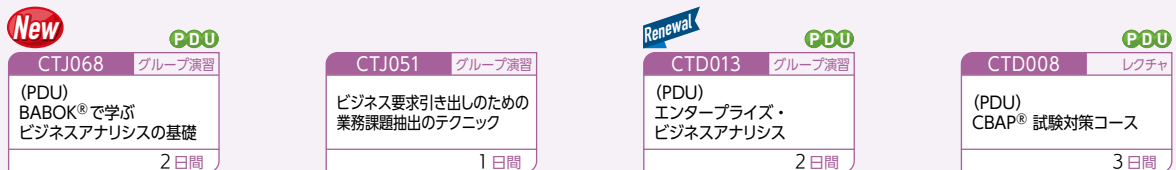
初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

● システム企画／要件定義に携わる方（特に、現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方向け）



● ビジネスアナリシスに取り組まれる方、関心をお持ちの方



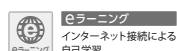
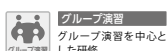
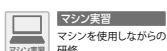
音声有+説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）

音声有+説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）

音声なし+説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

初心者におすすめ：コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



● 情報システム部門でベンダー・マネジメントに携わる方

CTJ046 グループ演習

情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント

1 日間

CTJ026 グループ演習

情報システムの利用者テストと移行・切替・本番稼働の準備実務

1 日間

PDU

CTJ005 グループ演習

(PDU) トラブルを防止する調達要件の分析-RFPの作成と提案書の評価を中心に

2 日間

CTJ022 グループ演習

情報システム部門のための開発工程におけるベンダー・マネジメント

2 日間

● システムエンジニア (SE) でサブベンダーのマネジメントに携わる方

Renewal

PDU

CTJ069 グループ演習

(PDU) プロジェクトマネジメントにおけるベンダーマネジメント

2 日間

● 保守開発に携わる方

SPJ033 グループ演習

保守開発におけるトラブル対策の考え方

1 日間

音声有+説明文有 : 説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)

音声有;説明文なし : 収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)

音声なし;説明文有 : 説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

初心者におすすめ : コンピュータ未経験の方が前提知識なく学習できる当該分野の最初のコースです。

PDU : PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。



マシン実習
マシンを使用しながらの研修



グループ演習
グループ演習を中心とした研修



レクチャ
座学による研修



eラーニング
インターネット接続による自己学習



その他



休講
休講
今期の定期開催はありません

SPJ008 IT戦略・IS企画

**(PDU) IT投資の評価手法**
-IT投資の種類・パターンから
効果を考える- PDU

IT投資に対するユーザ企業の評価は依然として厳しい状況が続いています。このような状況を解決しIT投資を生かすためには、経営陣の積極的な関与はもちろん、IT投資の目標を明確にし、目標に対する費用対効果について適切な評価ができるモデルを構築する必要があります。BSC、IT-BSC、SLMを、演習を通して体験するとともに、IT投資効果を戦略的投資、基盤への投資、保守への投資の観点から把握し、IT投資の評価モデル構築へのアプローチを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 13ポイント)の取得が可能です。

到達目標 IT投資の評価モデル構築へのアプローチを理解できる。

・IT投資の種類・パターンから見た効果を把握できる。

対象者 いかにか効果的なIT投資を行うかに心を砕いておられるIT部門/ユーザ部門およびベンダの方、中小企業診断士・システムアナリスト・プロジェクトマネージャの方、またはこれらをめざす方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容 1. IT投資の実態と評価の状況
2. 情報化におけるコストの内訳、構造
3. IT投資の種類・パターンからみた効果把握のアプローチ
4. BSC(バランススコアカード)、IT-BSC(ITバランススコアカード)へのアプローチ、演習
5. SLM(サービスレベルマネジメント)へのアプローチ、演習
6. IT投資評価モデル構築へのアプローチ

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

CTJ016 IT戦略・IS企画

**(PDU) IT投資対効果の考え方**
-IT投資マネジメントの基礎- PDU

IT投資の提案者や評価者が身につけておきたいIT投資マネジメントに関する実践的スキルを、講師による解説、グループ演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 6ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・我が国のIT投資マネジメントの現状を再確認できる。
・IT投資マネジメントが抱える課題とそれを解決する各種方法論を理解できる。
・IT投資マネジメントシステムの構築手順を理解できる。

対象者 ITプロジェクトの提案及び評価を担当する方、および候補の方。または興味をお持ちの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容 1. 今なぜIT投資マネジメントなのか
(1)我が国のIT投資を取り巻く環境
(2)IT投資マネジメントが抱える課題
2. IT投資マネジメント概論
(1)IT投資マネジメントに関するガイドライン
(2)ITIM成熟度モデル
3. IT投資マネジメントシステムを構築する
(1)IT投資マネジメントプロセス
(2)ITバランススコアカード
(3)ITプロジェクトの費用対効果分析
(4)IT投資ポートフォリオモデル
4. まとめ

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

CTJ005 IT戦略・IS企画

**(PDU)トラブルを防止する調達要件の分析**
-RFPの作成と提案書の評価を中心に- PDU

情報システムの開発/導入は重要な投資案件であるにも関わらず、処理能力不足や予算超過など、多くの失敗事例が報告されています。これらの中には調達要件の分析不備が原因と推定されるケースも少なくありません。システム要件を的確に伝えるRFPの作成、ベンダからの提案書の合理的な評価方法、および信頼性を向上させるIT契約書の締結などに関する知識を、演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 12ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・RFPの作成と提案書の合理的な評価ができる。
・信頼性の高いIT契約を締結できる。

対象者 情報システム部門でシステム企画/調達等を担当する方、システムアナリスト・プロジェクトマネージャ・システムエンジニア・セールスエンジニアの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容 1. IT調達に抱える課題と調達要件分析の重要性
2. プロジェクト調達マネジメント/IT調達ガイドライン
3. 要件を的確に伝えるRFP(提案依頼書)
(1)演習: 新システム導入に関するRFP検討
4. 合理的な提案書評価
(1)演習: ベンダからの提案書評価
5. 信頼性を向上させるIT契約書

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

SPJ033 IT戦略・IS企画

**保守開発におけるトラブル対策の考え方**

既存システムの修正や改良といった“保守開発”におけるトラブル対策の実践的知識を学習します。保守開発を進めるうえで留意すべきトラブル対策のポイントを、講師による解説とグループ演習を通して理解することができます。

到達目標 ・保守開発の現状と課題が説明できる。
・保守開発プロセスにおいて強化すべき改善ポイントが提言できる。
・保守開発で発生したシステムトラブルの原因分析と対策立案を実践できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、保守開発担当者、品質管理担当者、内部監査担当者の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内容 1. 今なぜ保守開発のトラブル対策なのか
(1)保守開発の現状
(2)保守開発プロセスが抱える課題
2. 保守開発マネジメント概論
(1)保守開発に関するガイドライン
(2)トラブル防止に向けた取り組み
3. 保守開発プロセスの改革提言
(1)保守開発段階での品質管理とは
(2)保守開発計画と工数見積りのレベルアップ
(3)開発環境とテスト環境の強化ポイント
4. 保守開発トラブルのマネジメント
(1)トラブル関連情報の収集と傾向分析
(2)ヒューマンファクタ分析の応用
演習: 保守開発におけるトラブルの事例研究
5. まとめ
講師: 前橋システムコンサルティング株式会社代表取締役
前橋雅夫氏(公認システム監査人)

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いたします。

CTD010 IT戦略・IS企画

**(PDU) IT経営ストラテジ**
(経営戦略コース) PDU

IT経営推進のマネジメントプロセスとして、経営課題を引き出し、経営改革を実現するために「経営戦略プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実現領域の経営戦略策定から、経営戦略実行、経営戦略評価段階にいたるまでの一連のIT経営を推進する手順を学習します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver. 3. 1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっています。

※IT戦略、IT利活用プロセスについては、別コースの【IT経営ストラテジ(IT戦略コース)】で学習が可能です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 16ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・IT経営の戦略策定と評価のポイントについて理解できる。
・経営者視点に基づいた経営戦略の策定に関するポイントを理解できる。

対象者 ・IT提案に経営者視点を加味したい方。
・IT戦略の前工程を学びたい方。
・経営企画業務に携わる方。
・経営改革または業務改革を提案する方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. IT経営推進プロセスガイドラインの理解
2. 変革認識プロセスの理解
3. 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ

備考 ・このコースは、パーソルラーニング株式会社との提携コースのため、パーソルラーニング株式会社で開催します。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をパーソルラーニング株式会社へ提供いたします。
・開始日15営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

CTD011 IT戦略・IS企画

**(PDU) IT経営ストラテジ**
(IT戦略コース) PDU

IT経営推進のマネジメントプロセスとして、IT経営実現領域の「IT戦略プロセス」および「IT利活用プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実現領域のITサービスやIT利活用のための戦略を立て、実行を評価する「IT戦略プロセス」と、具体的なIT利活用実現に向けた活動である「IT利活用プロセス」の重要性を理解します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver. 3. 1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっています。

※経営戦略の策定・実行・評価を行う経営戦略プロセスについては、別コースの【IT経営ストラテジ(経営戦略コース)】で学習が可能です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 16ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・IT化が経営戦略に基づくものであることを理解できる。
・ITユーザー企業視点に基づいたIT戦略およびIT利活用に関するポイントを理解できる。

対象者 ・IT提案にユーザー企業視点を加味したい方。
・IT導入・利活用の前工程を学びたい方。
・IT企画業務に携わる方。
・ITユーザー企業へIT戦略を提案する方。

前提知識 特に必要としません。

内容 1. IT経営推進プロセスガイドラインの理解
2. 経営戦略プロセスの理解(一部、業務改革プロセスを含む)
3. IT戦略プロセスの理解
4. IT利活用プロセスの理解
5. 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ

備考 ・このコースは、パーソルラーニング株式会社との提携コースのため、パーソルラーニング株式会社で開催します。
・コース実施に必要となるご受講者の個人情報をパーソルラーニング株式会社へ提供いたします。
・開始日15営業日前を過ぎてキャンセルおよび変更は、キャンセル料金として受講料の全額をご負担いただきます。
・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

マンシミュ
マンシミュを使用しながらの
研修グループ演習
グループ演習を中心とした
研修レクチャ
座学による
研修eラーニング
インターネット接続による
自己学習

その他

休講
今期の定期開催は
ありません

CTD007 IT戦略・IS企画

レクチャ

1日間

ITC資格試験対策 PDU

このコースはITC資格試験に合格するための対策コースで、「出題される箇所」「出題される理由」「具体的な対策方法」を中心に、いかにITCプロセスを要領よく理解し、いかに効率的に対策すれば良いかを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 8ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ITC試験合格に必要なプロセスガイドラインを本質的に理解し説明できる。

対象者 ITC試験を受験予定の方。

前提知識 特に必要としません。

内容

1. ITC試験の傾向と対策
2. IT経営プロセス全体概要
3. IT経営認識プロセス
4. IT経営共通プロセス
5. 上流(経営戦略・IT戦略)
6. 下流(IT調達・IT導入・ITサービス活用)

備考

- ・このコースは、パーソルラーニング株式会社との提携コースのため、パーソルラーニング株式会社で開催します。
- ・コース実施に必要なご受講者の個人情報をパーソルラーニング株式会社へ提供いたします。
- ・解説・演習問題確認を繰り返しわかりやすく学習します。
- ・このコースは、2011年に発行されました「ITCプロセスガイドラインVer.2.0(2011年8月31日発行)」版に対応しています。
- ・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

CTJ068 IT戦略・IS企画

グループ演習

2日間

**(PDU) BABOK®で学ぶ
ビジネスアナリシスの基礎 PDU** **New**

ビジネスニーズを特定し、ビジネスソリューションを決定するために必要なビジネスアナリシスおよびビジネスアナリストの役割について学習します。補助教材としてBABOK®を配布いたします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 12ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ビジネスアナリシスという専門職務と、その標準的なタスクやテクニックを説明できる。

対象者 ビジネスアナリシスを理解し、業務へ適用したい方。

前提知識 情報システム開発プロセスに関する概略的な知識があること。

内容

1. ITプロジェクトの課題とBAの必要性
2. BABOK®の概要
3. 各知識エリアの解説
4. BAの専門知識
5. BABOK®活用の勘所
6. PMBOK®ガイドとのつながり
7. BAの資格認定制度

備考

- ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきますいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
- ・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

CTD013 IT戦略・IS企画

グループ演習

2日間

**(PDU) エンタープライズ・
ビジネスアナリシス PDU** **Renewal**

このコースでは、どのようにして企業規模での複雑性や変革にビジネスアナリシスを適用するのかを学習します。具体的には、エンタープライズ分析とは- といった基本から始めたいえ、ディスカッションを通して、それがどのように投資戦略や変革対応に役立つのか、さまざまなビジネス・アーキテクチャとエンタープライズ・アーキテクチャの関係について理解します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 15ポイント)の取得が可能です。

到達目標 企業におけるビジネスアナリシスを説明できる。

- ・企業の構成要素をモデル化し、それがどのように働くかを説明できる。
- ・戦略を形成するために必要となる顧客価値を特定することができる。
- ・エンタープライズ分析を通して、どのように組織の人と資産の有効性を強化することができるのかを説明できる。

対象者 ビジネスアナリシスの分野に関心のある方。

前提知識 ビジネスアナリシスに関する基本的な知識、一般的な戦略論に関する知識があること。

内容

1. エンタープライズ・ビジネスアナリシス
2. ビジネスアーキテクチャ
3. 価値マッピング
4. ビジネスモデルからビジネス・ブループリントへ
5. ビジネスプロセス管理
6. 組織マップ
7. エンタープライズ・アーキテクチャの作成
8. ケイパビリティ・マップ
9. エンタープライズ・プロセス・ソリューション
10. 組織学習

備考

- ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきますいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
- ・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

CTD008 IT戦略・IS企画

レクチャ

3日間

(PDU) CBAP® 試験対策コース PDU

CBAP®試験は米国の非営利団体IIBA (International Institute of Business Analysis)が認定する資格で唯一日本語での受験が可能な資格です。そのCBAP®資格を取得するための試験対策として、米国Strategy Execution社のノウハウを活用し、合格に向けた学習ポイントを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 24ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・BABOK®の全体像と基礎知識を深く掘り下げ、合格に向けた学習ポイントや試験傾向と対策を説明できる。

- ・現状知識の強いエリア・弱いエリアを明確にし、受験に向けた強化ポイントを説明できる。
- ・CBAP®およびIIBAに関する知識と受験申請の手続き、受験に際しての心構えについて説明できる。

対象者 CBAP®資格取得をめざす方。

前提知識 BABOK®の基礎知識を修得していること。

内容

1. 試験概要/受験申請手続き
2. 基本概念
3. 計画と監視
4. 引き出しとコラボレーション
5. 戦略アナリシス
6. 要求分析とデザイン定義
7. ソリューション評価
8. 基礎コンピテンシー
9. 要求ライフサイクル管理
10. パースペクティブ
11. 150問模擬試験/解答解説

備考 【持参品】
事前に「BABOK®ビジネスアナリシス知識体系ガイドV3」をご購入のうえ、当日ご持参ください。

- ・PMI®、PMP®、PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

※別途ご案内いたします。

CTJ046 IT戦略・IS企画

グループ演習

1日間

**情報システム導入を成功させる要件定義と
ベンダー折衝の実践ポイント**

要件定義とベンダー折衝を通して、情報システム導入を成功に導く方法論を解説します。特にパッケージ・システム導入を事例として、各種のチェックリストと問題解決技法のテンプレート使用して具体的な進め方を修得します。

到達目標 ・要件定義作業の進め方、ベンダー提示資料の検討の方法について説明できる。

- ・社内手続き、業務改善・管理基準・ルールの改定と整理ができる。
- ・要件定義作業成果物の不安、未了および不確定の扱いについて検討できる。

対象者 企業内の情報システム部門で情報システム導入に携わる方。

前提知識 ・情報システムの開発に携わった経験があること。
・これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内容

1. 要件定義とは
2. 作業充実の要点とリスク回避
3. 要件定義作業とユーザ対応
4. 検討作業と整理技法
5. 要件定義の事例
6. ユーザ資料の作成要領
7. まとめ

備考

- ・このコースは、機能要件の明確化と委託先との交渉に関する実務を中心に扱っており、クラウドサービスの非機能要件については扱っておりません。
- ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきますいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
- ・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

CTJ026 IT戦略・IS企画

グループ演習

1日間

**情報システムのユーザテストと
移行・切替・本番稼働の準備実務**

情報システム部門が情報システム導入時に安定稼働を保証する条件は、「新規システムの品質確保」と「移行処理・切替作業の確実な実施」および「社内準備のミスのない実行」にあります。このコースでは、情報システム導入時に情報システム部門が社内に対して行う安定稼働を確保するための作業である、ユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備の実務について学習します。

到達目標 ・システムの品質保証、問題の管理と解決、移行処理、切替作業の概要を説明できる。

- ・社内外への必要情報の提示、教育研修とマニュアルが作成できる。
- ・業務改善、管理基準の変更および運用に関するドキュメントが作成できる。

対象者 企業内の情報システム部門で情報システムのユーザテスト・移行・切替・本番稼働の準備に携わる方。

前提知識 ・情報システムの開発に携わった経験があること。
・これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内容

1. 万全な準備の対象
2. ベンダテストの境界とユーザ関与
3. 品質を保証するユーザテスト
4. 「移行処理」とその対応策
5. 切替作業の方法と成功要因
6. 安定稼働のための社内準備
7. まとめ

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただきますいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

CTJ022 IT戦略・IS企画

**情報システム部門のための
開発工程における
ベンダー・マネジメント**

外部委託先がシステム開発プロジェクトに参画した段階からの、開発工程におけるベンダー・マネジメントの基礎知識を学習します。プロジェクトのリスクとトラブルを予防し、問題やその兆候を早期に発見し、委託先と協調しながら、現実的かつ確実に課題の解決を図るための方策を修得します。

到達目標 ・システム開発プロジェクトのベンダー・マネジメントにおける進捗管理・品質管理・リスク管理・変更管理・コスト管理の特性を説明できる。

- ・現状把握、進捗管理、問題解決に向けた有効な質問と聞き取りができる。
- ・自身の責任範囲を理解したうえで自社内への問題解決行動の候補を案出できる(折衝/上位者からの交渉/エスカレーション等)をべき行動の判断)。
- ・委託先との協調、連携作業を意識した自発的コミュニケーションができる。

対象者 企業内の情報システム部門で外部委託先(ベンダー)と連携してシステム開発に携わる方。

前提知識 ・情報システムの開発に携わった経験があること。
・これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

- 内容**
1. イントロダクション
 2. 要求とは何か
 3. 契約と委託内容
 4. コミュニケーションのマネジメント
 5. 品質管理とリスク管理
 - (1) 委託先の作業計画の確認
 6. 進捗管理
 - (1) 現状把握
 - (2) 予定と実績の差異確認
 - (3) 問題への対処
 7. 変更管理
 8. まとめ

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。

CTJ069 IT戦略・IS企画

**(PDU)
プロジェクトマネジメントにおける
ベンダーマネジメント PDU**

このコースでは、調達方針を踏まえ、SEがサブベンダーを取り纏める際のVMについて、開発プロジェクトの現場でサブベンダーの作業実態を把握し、作業進捗管理とリスクマネジメントを遂行する方法を修得します。SEがサブベンダーを取り纏める際、VMのための「プロジェクト実施方法の合意」「VM計画と問題解決プロセスの共有」「VM実行・監視コントロール」の具体策を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU: 13ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ・ベンダーマネジメント(VM)の基本枠組みを説明できる。
・実際のVM状況の改善策の実務検討ができる。
・ベンダーの問題解決行動を判断、評価する方法を説明できる。

対象者 外部委託先を使って顧客向けシステムを開発するSEの方。
前提知識 情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

- 内容**
1. プロジェクト合意
 - (1) プロジェクトで開発するプロダクト、サービス、文書
 - (2) 主要マイルストーン
 - (3) 前提条件の共有
 - (4) リスク要因の共有
 - (5) 契約文書の理解
 - (6) ベンダー責任の明確化
 2. VM計画と問題解決プロセス共有
 - (1) プロジェクト計画の確認
 - (2) 役割と責任の確認
 - (3) 進捗管理方法の共有
 - (4) 問題解決プロセスの共有
 - (5) リスクマネジメントプロセスの共有
 - (6) 問題解決プロセスの運用方法の共有
 - (7) ベンダーとのコミュニケーションプランの共有
 3. VM実行・監視コントロール・終結
 - (1) ベースラインの確認
 - (2) ベンダーの進捗報告コントロール
 - (3) 双方でのリスクコントロール
 - (4) 変更コントロール
 - (5) 終結のコントロール

備考 このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・PMI®, PMP®, PMBOK®ガイド、はプロジェクトマネジメント協会(Project Management Institute, Inc.)の登録商標です。

CTJ054 IT戦略・IS企画

**IT活用による業務改善を実現するための
問題分析と新業務プロセス設計技法**

組織の生産性向上を実現するためにはITを活用した業務改善が重要になります。しかし、とすれば既存業務の在り方に引っ張られてしまえば単なる現状の焼き直しに留まり期待したほどの成果を得られないケースも度々です。本当に取り組むべき問題をどのようにして発見しIT化によって解決するのかの考え方を、書籍「はじめよう!プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標 ・問題構造分析について説明できる。
・新しい業務プロセスの作り方について説明できる。
対象者 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわからないITエンジニア職の方。

前提知識 5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があることが望ましい。

- 内容**
1. 業務改善とは何か?
 2. 問題構造分析と真の問題
 3. ITと業務プロセスの関係
 4. 新しいプロセスのつくり方
 5. IT化における要件

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、2017年度まで公開していた「ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法—IT化企画の基礎から実践まで—」と同等の内容を含みます。

CTJ055 IT戦略・IS企画

**IT主導で攻めのビジネスを実現するための
構想立案とIT化企画の作り方**

デジタルライゼーション・AI・IoT...など、ITを全面的に活用することでこれまでになかった新しいビジネスモデルを実現する企業がどんどん生まれています。自社においてこのような取り組みをどのように進めればいいのかを、その最重要ポイントに絞って、書籍「はじめよう!プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標 ・ITの真の価値について説明できる。
・新しい業務プロセスの作り方について説明できる。

対象者 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわからないITエンジニア職の方。

前提知識 5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があることが望ましい。

- 内容**
1. IT化と従来のシステム化の違い
 2. 企画とは何か?
 3. 顧客と本業とビジネスモデル
 4. 顧客の真のニーズとToBe設計
 5. カスタマーエクスペリエンスとIT
 6. サービスデザインとIT
 7. IT化とデジタル化の違い

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、2017年度まで公開していた「ビジネス視点からのIT活用と業務プロセス改善の立案技法—IT化企画の基礎から実践まで—」および「ビジネス視点からのITサービスデザインの進め方」と同等の内容を含みます。

CTJ053 IT戦略・IS企画

**現場主導で現状業務の見える化を
推進するための業務フロー作成技法**

IT化に限らず現状業務の改善を推進するには現行業務の見える化が不可欠です。現場担当者が前向きになり、かつ割く時間を最小限に抑えながら精度の高い現場業務の見える化を実現するための方法について、書籍「はじめよう!プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標 ・業務の構造について説明できる。
・業務フローの作成方法について説明できる。

対象者 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわからないITエンジニア職の方。

前提知識 3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があることが望ましい。

- 内容**
1. どうして業務改善が難しいのか
 2. 業務の構造
 3. 見える化が難しい理由
 4. 業務フロー作成技法

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成—書き方・書かせ方—」と同等の内容を含みます。

CTJ052 IT戦略・IS企画

**現行システムのリプレイス/改修における
現状洗い出しを確実にするための
業務フロー作成技法**

昨今のレガシーマイグレーションやモダンライゼーションのような既存システムの改修・高度化における難関は現状の利用実態を把握しきつる必要業務ニーズを取りこぼすことです。これを予防するには現行システムの利用状況をしっかりと把握する必要があります。とすればドキュメントが揃ってなかったりする現実において、現状の洗い出しを高速かつ簡便に実現する方法について、書籍「はじめよう!プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実践的な要点をビジネス系システムを中心にお伝えします。

到達目標 ・現行システムの洗い出し方法を説明できる。
・業務の構造について説明できる。
・業務フローの作成方法について説明できる。

対象者 取り組みが進まず困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのかわからないITエンジニア職の方。

前提知識 3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。また、情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良。

- 内容**
1. 現行システム調査の盲点
 2. ユーザが期待するもの
 3. 業務フロー作成が難しい理由と業務の構造
 4. 業務フロー作成技法

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いたします。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。
・このコースは、2017年度まで公開していた「現状業務の洗い出しを確実に実現するための業務フロー作成—書き方・書かせ方—」と同等の内容を含みます。

CTJ051 IT戦略・IS企画



グループ演習

**ビジネス要求引き出しのための
業務課題抽出のテクニック**

1日間

工場系・営業系・管理系・SCM系に関する、質問によるMECEな業務課題の引き出し方、主要課題一覧表の作成と確認方法を学習します。

到達目標 企業の全ての業務機能に対して、MECEな質問により業務改革に位置するハイレベルの業務課題を引き出すことができる。

対象者 ・ITエンジニア職の若手・中堅の方で、BABOK®ガイド程度の知識はあるがビジネスアナリシスの実践に不安を抱えている方。
・ITエンジニア職の若手・中堅の方で、実践において適切な上位者の指導が必要な方。

前提知識 「(PDU)ソリューション提案のための経営と情報戦略ー経営・事業・情報戦略のあるべき関係性ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内容 1. ビジネスアナリシス方法論GUTSY-4の概論
2. 業務課題インタビューシートの作成方法
3. 主要課題一覧表の作成方法

備考 ・このコースは、グループ演習を中心とした構成のため、研修効果の観点から最少開催人数を設けさせていただいております。ご了承のほどよろしくお願いいたします。
・このコースの内容は、予告なく変更になる場合があります。

HITACHI

Inspire the Next

各種研修サービスに関するお問い合わせ

地 区	T E L	F A X
東 京	03-5471-8962	03-5471-2564
大 阪	06-4797-7360	06-4797-7361
名 古 屋	052-269-8940	052-261-8276
広 島	082-546-6172	082-546-6173
福 岡	092-844-7522	092-844-7580

日立講習会お問い合わせ窓口 ▶ <https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html>